

太宰府天満宮前郵便局長

こが しゅうさく
古賀 秀策さん



令和元年に太宰府市と郵便局で包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行ってきました。

まず「令和ゆかりの地 太宰府」フレーム切手を発行し、太宰府発祥の元号の誕生に花を添えました。市内の郵便ポストには2次元コードが貼ってあり、ここから避難場所や観光案内を見ることができます。また郵便車が道路損傷や不法投棄を報告したり、災害発生時に市と郵便局が協力し合う防災協定も締結しています。最近では郵便局おすすめの市内の観光コースを作成し7月に公開発表しました。

郵便局はラジオ体操の普及にも努めています。太宰府市制施行40周年記念事業として、巡回ラジオ体操会が7月30日に大勢の市民を集めて太宰府政庁跡で開催されました。日常も市内各地でラジオ体操が行われていますが、私も参加する高雄公園のグループは発足以来12年間一日も休まず活動しており、昨年楠田市長臨席のもと九州地方表彰を受賞しました。

今後とも郵便局は太宰府市と連携し、地域の発展に貢献していきます。

特集

- 【表紙関連】ラジオ体操のチカラ 5~7
- 後期高齢者医療制度に関するお知らせ 8
- 新型コロナウイルスワクチンの接種について 9
- 動物との暮らし、考えよう 10~12
- 健幸リズム教室・男性のためのすこやか運動教室開催のお知らせ 13
- 市からのお知らせ 14~17
- 【保存版】太宰府市「女性相談窓口」開設 19~20
- 連載 18~29
- なんでも情報コーナー 30~37
- 太宰府の文化財 38

市政ニュース

非核・平和宣言都市として

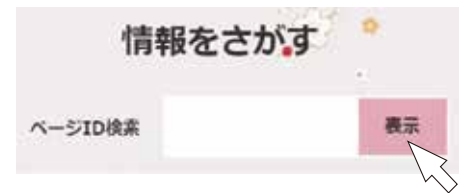
ウクライナ避難民学生支援 第2回義援金贈呈式を開催

本市では、連携協定を結ぶ日本経済大学が行うウクライナからの避難民学生の受け入れに賛同し、学生たちが安心して暮らせるよう支援を行っています。

4月1日~6月30日までにふるさと納税GCFを中心に受け付けた寄附金8,583,240円を7月12日(火)、日本経済大学へ贈呈しました。市内外の個人・企業を問わず多くの協力があり、本年3月17日~31日の期間の寄附金額と合わせると1千400万円超が集まりました。この寄附金は、日本へ避難してきた学生たちが日々を過ごすサポートのための資金として使われます。※本市による受け付けは終了しましたが、日本経済大学による「ウクライナ避難民学生支援基金」は引き続き募集しています。

日本経済大学の都築明寿香学長、ウクライナの避難民学生2人と楠田市長▶

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある最大7ケタのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。



団体からの寄附 株式会社 SRL と株式会社ナッツから企業版ふるさと納税寄附

アパレルブランドの販売代行事業を展開する株式会社SRL(写真左)から「令和発祥の都太宰府梅プロジェクト」に、キャンピングカーの製造販売やレンタカー事業を展開し本市にも事業所のある株式会社ナッツ(写真右)から「太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進プロジェクト」に賛同いただき、企業版ふるさと納税として寄附をいただきました。

本市の更なる発展のため大切に活用させていただきます。



寄附を受ける様子